

決算委員会質疑通告表

日本維新の会 石井苗子

4月1日（水）

1. アビガンの治験について（総理大臣）
2. 新型コロナウイルス治療薬の医師主導治験について（総理大臣）
3. アビガン、カレトラ、レムデシベルの観察研究の成果公表について（総理大臣）
4. 重症例などの公表について（厚生労働大臣）
5. 東京での入院先確保について（厚生労働大臣）
6. 重症者用のベット確保について（厚生労働大臣）
7. 人工呼吸器、ECMOの確保について（厚生労働大臣）
8. 国と埼玉県、千葉県、神奈川県との協力体制について（総理大臣）
9. オンライン診療に係る規制について（厚生労働大臣）

新型コロナウイルス対策に関する提言《第3弾》



感染症対策強化

- 自粛イベントに係る補償
 - ホテル・旅館の活用(軽症者向け)
 - 海外帰国者への外出自粛命令
 - オーバーシュートへの備え(広域医療調整組織の設置)
- 事後を含め立法化を図る

2. 感染症対策強化

・
・
・

(4) オーバーシュート時に向けた広域医療調整組織の設置

・医療崩壊を防ぐための現在の対策は都道府県ごとに講じているが、海外で起こっているレベルのオーバーシュートが生じた場合に備え、国主導・地域主体の広域医療調整組織を構築しておくことが重要。

(5) 人工呼吸器の整備とマンパワーの確保

・オーバーシュートが生じた場合に備え、重症者に必要となる人工呼吸器とECMO（体外式膜型人工肺）に係る機材及び人材の確保を急ぐ。

(6) ワクチン・治療薬の開発支援

・ワクチンと治療薬を早期に開発するため、それらの開発と実用化に取り組む研究施設や事業者に対し積極的に財政支援するほか、開発後の増産、備蓄体制についても国が責任をもって確立する。早期開発を阻む手続き規制も緩和する。

(7) オンライン診療の推進

・医療機関での感染拡大を阻止するために、オンライン診療の対象を従来限定していた慢性疾患以外の患者にも適用できるよう早急に法改正する。新型コロナに係る自宅療養の軽症者も対象とし、入院治療は重症者を優先する態勢を整える。

臨床研究

